

BUSINESS SUPPORT HANDBOOK for GUIDES



観光地域づくりに取り組む ガイドのための経営支援ナビ

知っておきたい! 相談先・支援制度

はじめに

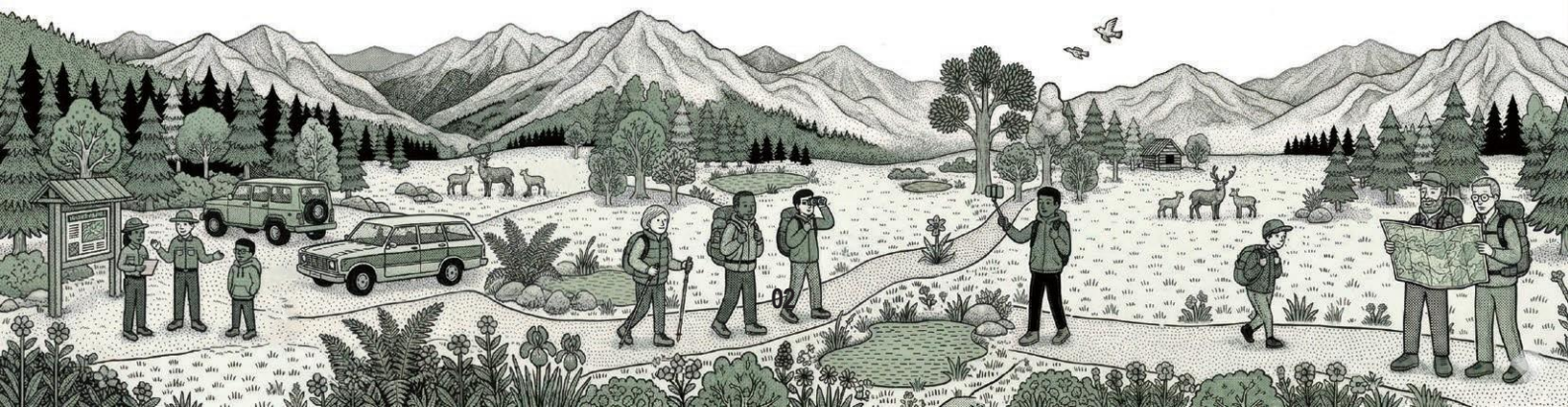
このサポートブックは、北海道内で活動されるガイドの皆さまに向けて、支援機関や支援施策を知るきっかけとなるよう、事例や情報をまとめたものです。ガイド業は、地域の歴史・文化・自然等の魅力を伝えることで、旅の体験価値を高める大切な仕事の一方で、繁閑差による収入や経営の不安定さなど、さまざまな悩みの声も多く寄せられています。

前半では、実際に支援施策を活用したガイドの方々の声をインタビュー形式で紹介しています。どのようなことで悩み、どこに相談し、どのように取り組んできたのか、それぞれの経験が参考になれば幸いです。

後半では、相談窓口や補助金、スキルアップにつながる制度などをテーマ別に整理しています。今すぐご活用いただくだけでなく、今後課題を感じた際に、「相談できる先がある」「こんな選択肢もある」と思い出していただける資料としてご利用ください。

本書がガイドの皆さまの活動を支える一助となれば幸いです。

北海道経済産業局
地域経済部 食・観光産業課



もくじ

1. ガイド業界の現状	04
2. 支援施策活用事例	05
自然考房 Nature Designing	05
商工会への相談	
支笏ガイドハウスかのあ	06
補助金の活用	
Geo Cul	07
よろず支援拠点の活用	
3. 支援施策紹介	08
経営全般に関する相談	08
補助金・助成金	09
その他お役立ち情報	13
4. 資格・スキル情報	14
5. アウトドア団体・行政窓口紹介	15



1. ガイド業界の現状

北海道経済産業局では、道内でガイドとして活動する個人や事業者の皆さまを対象に、2024年度にアンケート調査を行いました。ここでは、その結果から見えてきたガイド業界の状況を簡単に紹介します。

多くのガイドが仕事を組み合わせながら活動

アンケートでは6割以上の方が専業ではなく、兼業でガイドを行っていると回答されました。ガイド以外の仕事としては、自然調査、宿泊・飲食業、教育分野など、野外活動や観光に関わる複数の仕事を組み合わせて活動されている方が多くなっています。「どれが本業、どれが副業というよりも、全てがガイドに繋がる仕事だ」という声も寄せられました。

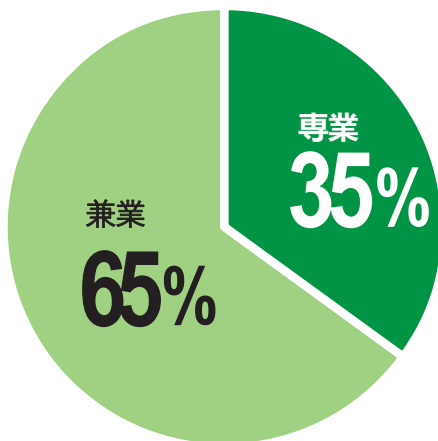
収益の向上や集客が課題

繁忙期・閑散期によって、ガイド従事時間は大きく異なり、収入は不安定な状況にあります。ガイド個人へのアンケートでは、今後の活動意向として、「ガイド活動による収入を増やしたい」との回答が多くを占めていました。ガイド事業者へのアンケートでも、「収益の向上」や「集客の難しさ」が課題として挙げられていました。

支援施策の活用は少ない

経営相談窓口や補助金などの支援施策については、存在は認知されているものの、実際に活用しているケースは多くありませんでした。一方で、行政機関への意見として「ガイドが補助金などにアプローチしやすくしてほしい」といった声も寄せられています。

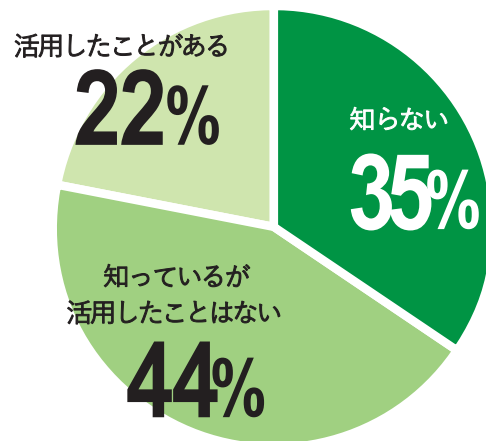
兼業状況



(n=62)

※アンケート対象：道内ガイド個人

経営相談窓口の活用状況



(n=46)

※アンケート対象：道内ガイド事業者

※「令和6年度「北海道経済産業局における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業」(事業区分A)」アンケート調査より

2. 支援施策活用事例

[商工会への相談]

自然考房 Nature Designing

代表 鈴木 宏紀さん

2018年に日高町で「自然考房Nature Designing」を設立し、ガイドツアーや自然体験プログラムを提供。町内の観光事業者有志で道の駅内にショップを開店するなど、地域経済の活性化にも取り組む。地域内の宿泊施設の多様化、外国人観光客の受入環境整備を目指し、2025年に一棟貸しの宿泊施設「ノイエヒダカ」を開設。



— 商工会に相談したきっかけを教えてください。

独立した2018年に胆振東部地震があり、2020年にはコロナ禍が始まり、ガイドの不安定さを感じていました。最初に商工会に相談に行ったのは、ネットで見つけた小規模企業共済という制度に加入するためです。小規模企業共済は、個人事業主などを対象とした積み立てによる退職金制度で、節税効果があり、低金利の貸付制度もある点に魅力を感じました。

— これまで、どのような支援施策を活用しましたか。

地域の有志で開設した道の駅内のショップでは、備品の購入に道の補助金を活用しました。宿泊施設「ノイエヒダカ」を始める際には、融資の相談や事業計画作成で商工会にお世話になりました。現在は、2棟目の宿泊施設の改装に向けて、小規模事業者持続化補助金にも申請しています。

補助金や融資は、調べれば情報はたくさん出てきますが、本当に自分が使えるのか、どれが一番適しているのか、自分だけで判断するのは難しいです。専門家に相談しながら整理できて良かったです。

— これから支援施策の活用を考えている方へ、メッセージをお願いします。

起業直後でないと思えない融資や、地域おこし協力隊OB向けの制度など、タイミングを逃すと使えなくなる支援施策もあります。起業を考え始めた段階で、地域の商工会に相談してみると良いと思います。まずは小規模企業共済に加入するだけでも、価値があると思います。

— 商工会での支援について教えてください。

相談内容としては、税務、融資などの相談にいらっしゃる方が多いです。鈴木さんはビジョンが明確で、事業計画もしっかり考えられてました。自分で元々考えているからこそ、融資の面接もスムーズに進んだ印象です。地域で新しい事業を始めたい方は、ぜひ気軽に商工会を訪れてください。



日高町商工会 経営指導員 種本 亮さん

2. 支援施策活用事例 [補助金の活用]

支笏ガイドハウスかのあ 代表 松澤 直紀さん

2010年に「支笏ガイドハウスかのあ」を設立し、支笏湖でカヌーを中心としたアクティビティツアーを展開。また、「一般社団法人かのあ」では、国立公園の維持管理や外来種駆除、子どもの自然体験活動に取り組んでいる。



—支援施策活用のきっかけを教えてください。

10年ほど前に店舗を購入しました。その際、千歳の商工会議所に相談して、売上や返済の見込みなど作戦と一緒に考えてもらいました。ミラサポを通じて、中小企業診断士の派遣も受けました。

最終的に日本政策金融公庫から約2,000万円の融資を受け、現在は返済も完了しています。

—補助金も活用されたと聞きました。

小規模事業者持続化補助金を活用して、店舗前にデジタルサイネージを設置しました。

店舗購入が「足場固め」「守り」の投資だとすれば、デジタルサイネージは集客のための「攻め」の投資です。歩行者の目に入る場所で、体験の様子を常に映すことで、「自分も体験してみたい」と直感的に伝わる仕組みをつくりたいと思いました。

店舗購入の際に、支援を受けながら事業計画書も作成していたので、申請は難しくなかったです。

—サイネージ設置の効果はいかがでしたか？

予約が空いていた枠に、飛び込みの参加者が入るようになりました。2023年シーズン途中にサイネージを設置しましたが、当日飛び込み参加は2024年・2025年に倍増近くなっています。

また、24時間宣伝し続けるデジタル広告としても機能しています。支笏湖に来た道内観光客など、今回参加しなくても、次回来たときに参加しようと思ってもらえるきっかけになることを期待しています。

—これから支援施策の活用を検討される方に、メッセージをお願いします。

カヌーの場合だと、カヌーやライフジャケットがあれば、事業を始めること自体は難しくありません。

でも、途中で大きい買い物をしたいときには、支援機関や補助金の存在が心強いです。何か悩みが出てきたときは、相談してみると良いと思います。



補助金を活用して設置したデジタルサイネージ

2. 支援施策活用事例 [よろず支援拠点の活用]

Geo Cul 中山 洋子さん

2022年に火山マイスターを取得し、伊達・洞爺湖エリアを中心に火山・遺跡・文化を組合せたガイドが好評を得ている。自分らしい案内を形にしたいという思いから独立を目指す。冬はスノーボードインストラクターとしても活動しながら、四季を通じて地域の魅力を伝え続けている。



—よろず支援拠点に相談したきっかけを教えてください。

独立を目指して動き始めたものの、わからない部分が多く、悩んでいました。そんな中、ATガイド向けセミナーで「よろず支援拠点」を知りました。※AT：アドベンチャートラベル

—これまで、どのような支援を受けましたか。

最初は名刺とロゴの作成を相談し、作り方からデザインの方性まで丁寧にサポートしていただきました。

その後はホームページについても相談を始め、カラー選びやプロフィールの書き方など全体の構成について具体的なアドバイスをいただいています。

オンラインでのやり取りでしたが作業はとてもスムーズで、名刺とロゴも無事完成しました。現在はホームページの完成に向けて引き続き支援を受けています。

—これからよろず支援拠点の活用を考えている方へ、メッセージをお願いします。

私は自分自身だけでなく、家族の事業でも広報やSNS運用の相談でよろずを活用していますが、どんな内容でも対応してくれる安心感があります。分野ごとに専門家が揃っていて、内容に応じて最適な方につないでもらえるのも魅力です。

ガイド仲間や観光業の方、これから個人事業を始める方にはぜひ活用してほしいと思います。

新しいことに挑戦する際は一人で調べると時間も労力もかかりますが、よろずなら専門家から無料での確かなアドバイスが受けられ、安心して前に進めます。迷っている方は、まず一度相談してみてください。

—よろず支援拠点では、どのように支援されましたか？

中山さんの思いや個性が伝わるようサポートしつつ、カラー選びやデザイン、知的財産の専門的な視点からもアドバイスを行いました。

よろず支援拠点は「こんなことでも相談していいのかな？」という内容も気軽に話せて、対話を重ねる中で方向性が明確になる方も多いです。課題整理や専門家とのマッチングも行っていますので、壁打ちとしても遠慮なくご利用ください。



北海道よろず支援拠点コーディネーター 外崎由香さん

3. 支援施策紹介 [経営全般に関する相談]

よろず 支援拠点

ガイドとして活動している個人事業主や小規模事業者の方、創業を予定している方も相談できる無料の相談窓口です。中小企業支援の知見を有する専門コーディネーターが担当します。関係機関とも連携し、経営上のあらゆるお悩みにワンストップで対応しています。

SNSやWeb広告の
活用方法を知りたい

ブランドイメージ
を向上させたい

資金繰りを
相談したい

経営のお悩みは、ぜひ専門家にご相談ください！

事業計画書
を見てほしい

補助金申請の
アドバイスがほしい

組織体制の見直しを
検討したい



北海道よろず支援拠点

<https://yorozu-hokkaido.go.jp/>

北海道 中小企業総合 支援センター

中小企業診断士等のスタッフが、様々な相談に無料に対応します。創業・経営に関するご相談から、当センターや他機関が実施する各種施策についてのアドバイスまで、幅広く対応します。



北海道中小企業総合支援センター

https://www.hsc.or.jp/consul_cat/consul/

3. 支援施策紹介 [補助金・助成金]

集客用のチラシを
作りたい

備品や設備を
整えたい

新しいサービスを
始めたい

小規模事業者 持続化補助金

小規模事業者等の生産性向上と持続的発展を図ることを目的とし、持続的な経営に向けた経営計画に基づく販路開拓等の取組を支援する制度です。この補助金に申請するためには、商工会・商工会議所の支援を受けながら、経営計画を作成する必要があります。

補助率

2/3 以内

賃上げ特例を活用した事業者のうち赤字事業者は3/4

補助上限

50万円（一般通常枠）、200万円（創業型）

特例

インボイス特例：補助上限額を50万円上乘せ（一般型通常枠・創業型）

賃金引上げ特例：補助上限額を150万円上乘せ（一般型通常枠のみ）

対象経費

機械装置等費、広報費、ウェブサイト関連費、展示会等出展費（オンラインによる展示会・商談会等を含む）、旅費、新商品開発費、借料、委託・外注費

活用例

- ・ 集客のためのデジタルサイネージの導入
- ・ 訪日観光客の来店数増加のための店舗改装
- ・ ホームページ制作と販促物作成 など

ご活用を検討される場合は、地域の商工会・商工会議所にご相談ください



一般型・通常枠（商工会地区の方）

https://www.jizokukanb.com/jizokuka_r6h/



一般型・通常枠（商工会議所地区の方）

<https://r6.jizokukahojokin.info/>



創業型

<https://r6.jizokukahojokin.info/sogyo/>

3. 支援施策紹介 [補助金・助成金]

事務作業を
効率化したい

デジタル化・ AI導入補助金 (旧IT導入補助金)

中小企業・小規模事業者等の労働生産性の向上を目的として、業務効率化やDX等に向けたITツール（ソフトウェア、サービス等）の導入を支援する制度です。この補助金に申請するためには、事前に登録されたIT導入支援事業者とパートナーシップを組む必要があります。

補助率

1/2 ～ 4/5 以内（枠・類型によって異なる）

補助上限

最大 450万円（枠・類型によって異なる）

活用例

- ・ 予約管理システムの導入
- ・ 勤怠・労務管理ツールの導入
- ・ インボイス発行の作業を効率化するための、会計ツールの導入など

対象経費

ソフトウェア購入費、クラウド利用費、
導入関連費、ハードウェア関連費、サービス利用料など
※事前に事務局の審査を受け、補助金ホームページに公開されているITツールが対象になります。

ご活用を検討される場合は、デジタル化・AI導入補助金事務局までご相談ください



デジタル化・AI導入補助金ホームページ
<https://it-shien.smrj.go.jp/about/>

3. 支援施策紹介 [補助金・助成金]

新しいサービスを
始めたい

北海道中小企業 新応援ファンド事業

(独)中小企業基盤整備機構、北海道、札幌市、金融機関により組成されたファンドの運用を基に、道内における新たな産業の創出や事業化を支援するものです。

助成率

1/2 以内

助成上限

① 創業促進支援事業: 100万円

道内に主たる事業所を設けて新規に事業を開始する個人又は中小企業者の事業展開に要する経費の一部

② 地域資源活用型事業化実現事業: 150万円

地域資源を活用または農商工連携による新商品・新サービスの開発から販路開拓までの事業化実現に向けた一連の取組みに要する経費の一部

③ 製品開発チャレンジ支援事業: 50万円

本格開発着手前の事業構想の実現に向けた事前検証・検査・分析に要する経費の一部

2026年度「北海道中小企業新応援ファンド事業」募集案内



(公財)北海道中小企業総合支援センター
<https://www.hsc.or.jp/news/fund2026/>

最新の募集は、[ホーム](#) > [センターからのお知らせ](#) > [補助金・助成金](#)をご覧ください。

3. 支援施策紹介 [補助金・助成金]

起業したい

地域課題解決型 起業支援事業

デジタル技術を活用し、道内における地域課題の解決を図るために新たに起業する方に対して、起業に必要な経費の一部を補助するとともに、事業の実現性を高めるため、事業の立ち上げにあたり伴走支援を行います。

補助率

1/2 以内

補助上限

200 万円

対象経費

人件費、店舗等借料、設備費、原材料費、借料、知的財産等関連経費、謝金、旅費、外注費、委託費、マーケティング調査費、広報費など

伴走支援

起業支援金交付対象事業者には、
(公財)北海道中小企業総合支援センターが伴走支援を行います。

地域課題解決型起業支援事業



(公財)北海道中小企業総合支援センター
<https://www.hsc.or.jp/consul/regional-entre/>

最新の募集は、[ホーム](#) > [センターからのお知らせ](#) > [補助金・助成金](#)をご覧ください。

3. 支援施策紹介 [その他お役立ち情報]

観光地域づくり NAVI

「観光地域づくりNAVI～地域で活用できる観光振興ガイドブック～」は、各省庁の出先機関を中心に、道庁、北海道観光機構、JNTOも参画する観光立国推進北海道地方省庁連絡会において制作し、北海道内で活用できる観光分野の国の施策や支援制度をまとめたものです。観光に関わる事業者や地域の方々が、様々な制度を把握しやすいように整理しています。

北海道で観光に関わる中で、どのような支援制度があり、どこに相談できるのかを知るための参考資料として活用できます。

海外にアピール
したい

観光誘客を
推進したい

地元の環境を
整備したい

観光関連の様々な支援制度が目的別に整理されています！

新たなサービスに
取り組みたい

地域の魅力で
知名度アップ

地元の人を
育てたい

エコで
知名度アップ

農山漁村を
元気にしたい

賑わいを
創出したい



観光地域づくりNAVI(北海道運輸局)

<https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kankou/tiiki/navi/index.html>

4. 資格・スキル情報

北海道アウトドア資格制度

山岳（夏山・冬山）、自然、ラフティング、カヌー、トレイルライディングの各分野についての知識や技術だけでなく、ガイドとしての責任や役割、北海道の自然、歴史、文化、リスクマネジメントについての試験、救命救急講習なども含めた、北海道知事認定の公的なアウトドアガイド資格制度です。



北海道アウトドア
資格制度業務センター
<http://do-taiken.jp/>

北海道アドベンチャー トラベルガイド認定等制度

アドベンチャートラベル（AT）とは、アクティビティ・自然・異文化体験の3つの要素のうち、2つ以上を組み合わせた旅行形態です。9分野の「アクティビティガイド」のほか、アドベンチャートラベラーとともに動きながら案内や調整を行う「スルーガイド」を対象として北海道ATガイドを認定しています。



北海道ATガイド認定等制度
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/500-outdoor/atguide.html>



北海道マスターガイド

北海道アウトドアガイド

北海道アウトドア検定

北海道アウトドア講習

COLUMN

海外旅行会社がガイドに求める 資格・スキル

北海道運輸局では、アドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)へ参加経験のあるAT関連の海外旅行会社等を対象に、ガイドを手配する際にどのような資格やスキルを重視しているのか、ヒアリング調査を実施しました。

[調査結果（概要）]

- 約74%が「ガイドを手配する際に求める資格がある」と回答。
- 特に安全管理・応急対応に関する資格は、分野や地域を超えて重視。
- 地域のことを熟知した「ローカルガイド資格※」も高く評価。

※北海道アウトドア資格、北海道ATガイド認定等

詳細はコチラ▶

<https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/content/000369545.pdf>



※北海道運輸局「令和7年度ガイドを利用した観光・旅行の需要拡大に向けた実証事業」より

5. アウトドア 団体・行政窓口紹介

アウトドア関係団体

ネットワークづくり・スキルアップ



体験型観光の普及と振興

一般社団法人
北海道体験観光推進協議会
<http://do-taiken.jp/>



ネットワークづくりやイベントの開催

北海道
アドベンチャートラベル協議会
<http://hokkaido-adventuretravel.com/>



ネットワークづくりやイベントの開催

一般社団法人
北海道アウトドアネットワーク
<https://hokkaidooutdoor.jp/>

行政機関

とにかく困ったら相談！



高森さん

知事認定ガイドに関すること

北海道 経済部 観光局
観光振興課

☎ 011-206-6944

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/>



浅野さん

観光全般に関すること

国土交通省 北海道運輸局
観光部 観光企画課

☎ 011-290-2700

<https://www.ttb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kankou/index.html>



中屋さん

経営に関すること

経済産業省 北海道経済産業局
地域経済部 食・観光産業課

☎ 011-736-9706

✉ bzl-hokkaido-shokukanko@meti.go.jp
https://www.hkd.meti.go.jp/information/kanko_sangyo/index.htm



尼子さん

国立公園に関すること

環境省
北海道地方環境事務所
国立公園課

☎ 011-299-1953

✉ hokkaido-np@env.go.jp
https://hokkaido.env.go.jp/nature/mat/m_1.html



支援機関

起業・創業から事業拡大まで



公益財団法人 北海道中小企業総合支援センター
経営支援部 経営支援G (北海道よろず支援拠点)

☎ 011-232-2402 ✉ keieishien@hsc.or.jp <https://www.hsc.or.jp/>



商工会議所 (道内一覧)

<https://www.hokkaido.cci.or.jp/42cci/>



商工会 (道内一覧)

https://www.do-shokoren.or.jp/?page_id=54

BUSINESS SUPPORT HANDBOOK for GUIDES



観光地域づくりに取り組むガイドのための経営支援ナビ

2026年3月

【発行元】

経済産業省 北海道経済産業局

地域経済部 食・観光産業課

TEL: 011-736-9706

【協力】

国土交通省北海道運輸局

環境省北海道地方環境事務所

北海道

(公財)北海道中小企業総合支援センター

(一社)北海道アウトドアネットワーク